

令和6年度千葉市大学市長賞 受賞者一覧

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
<p>植草学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学 科</p>	<p>たけだ ななこ 武田 七虹</p>	<p>市内企業が運営する児童発達支援・放課後等デイサービス施設において、<u>学生ボランティアとして児童の知的発達や運動発達のサポートに関わることで、地域の児童福祉に貢献した。</u> 入学当初より高い学業意欲を継続し、1年次から4年次前期までの累計GPA値は保健医療学部で学年3位の高い学業成績であった。 また、医療従事者に必要なコミュニケーション能力、観察力、忍耐力、傾聴力、責任感を養うことも入学当初から意識して取り組み、作業療法士としての可能性の追求心や自己研鑽志向の強い学生である。</p>
<p>神田外語大学 外国語学部 英米語学科</p>	<p>あらい なつき 荒井 菜月</p>	<p>令和6年に開催された千葉シティトライアスロン大会において、<u>英語による案内業務を通じて外国人参加者の支援に尽力し、バスケットボールクラブ「アルティアリー千葉」のインターンシップでは、イベント運営や外国籍通訳、PR業務を担当し、同団体と千葉市が提携している「ホームタウン推進」にも貢献した。</u> ケベック大学モントリオール校への交換留学経験を活かし、国際的な視野を広げるとともに、大学のボランティアセンターを通じて数々のボランティアに参加し、学業と社会貢献活動の両立に取り組んだ。 国内外のイベント運営補助や通訳業務などで多大な貢献をし、責任感と信頼を得ている。</p>
<p>敬愛大学 国際学部 国際学科</p>	<p>みやざき るい 宮崎 瑠衣</p>	<p>ボランティア活動への関心が高く、<u>千葉市大賀ハスマつり学生ボランティアとして出展団体のサポートにあたった。</u>また、敬愛大学日本語教員養成課程の日本語教育実習において、<u>千葉市内日本語学校で授業を行った経験を活かし、現在、轟町中学校において日本語学習支援を行っている。</u> ゼミでは「日本語教育を通して見る国際化」というテーマで発表を率先して引き受け、優れた洞察によってゼミに大きな刺激を与えた。 社会性や協調性の高さ、責任感の強さ、また謙虚な人柄から、周囲の厚い信頼を得ている。</p>
<p>淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科</p>	<p>すぎた だいき 杉田 大晃</p>	<p>学生消防団団長及び、安心安全な環境づくりに貢献することを目的としたサークル「Shukutoku Eagle Eyes」の代表として、<u>他の学生を巻き込みながら、地域の安全を守るため日々の訓練やパトロールを精力的に行った。</u> 真摯に行事やボランティア活動に励む姿は他の学生にも良い影響を与え、教員からの人望も厚い学生である。 本学の地域共生センターでは、<u>東日本大震災復興支援や能登半島地震復興支援にも精力的に参加し、地域復興支援活動を行った。</u></p>
<p>千葉大学 大学院融合理工学府 基幹工学専攻 医工学コース 博士前期課程</p>	<p>たむら あかね 田村 茜</p>	<p>在学中に全国手話検定試験準一級を取得し、<u>千葉大学の入学式や卒業式での手話通訳や、稲丘小学校や千葉大学手話サークルにおける手話指導のボランティア</u>を行い、本市における聴覚障害者福祉の促進や手話の普及に貢献した。 修士論文研究では、耳介に軽く接触させることで聴取可能な新型イヤホンの開発に有用な知見を示し、成果を英文学術誌及び国内外の多くの学術集会で発表した。学術・応用両面での価値が評価され、<u>計測自動制御学会優秀学生賞等の5件の表彰</u>を受けている。 研究室の管理・運営や後輩の指導にも積極的に取り組み、休日も研究にあてるなど、研究態度は極めて熱心で、一貫して模範的な学生である。</p>

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
<p>千葉経済大学</p> <p>経済学部 経営学科</p>	<p>うめの さちの 梅野 紗千乃</p>	<p>米屋株式会社と羊羹を共同開発したボランティア活動では、提案したパッケージデザインが採用されるなど、プロジェクトの一員として大きく貢献した。また、共同開発した羊羹を千葉都市モノレールの千葉駅構内で発売すると共に、そこで得た利益を能登半島地震で被害を受けた高校の支援プロジェクトにつなげるなど大きく貢献した。</p> <p>ゼミ活動においては、学内外のビジネスコンテストで優秀な成績を上げている。</p> <p>大変まじめで温厚な学生であり、また誰とでも協力し、チームの雰囲気を高めてくれる存在である。</p>
<p>東京情報大学</p> <p>看護学部 看護学科</p>	<p>たなべ ありさ 田邊 亜利佐</p>	<p>入学時より女性の健康課題への取り組みに高い関心を持っており、リプロダクティブヘルス実習において、子宮頸がんについて調べ、子宮頸がんワクチン接種対象者である若年女性への啓発に関する健康教育に取り組んだ。その内容を「市長と語ろう会」にて提案し、積極的に市政に関与した。</p> <p>看護学実習やグループワーク等ではリーダーシップを発揮し、他者との関係性を構築しながら、自己の学びを深めた。</p> <p>何事にも誠実に一生懸命取り組む姿勢があり、品行方正かつ他者への配慮もでき、他の学生からの信頼も厚い学生である。</p>
<p>植草学園 短期大学</p> <p>こども未来学科</p>	<p>すずき あすか 鈴木 亜寿香</p>	<p>「植草共生の森」で開催される地域イベント「ビオトープ祭」や学園祭の子どもフェスティバルの運営に関わり、若葉区近隣の子どもたちやその保護者等と手作り玩具と一緒に遊ぶコーナーを担当する等こどもの発達教育に貢献した。また、千葉市パラスポーツコンシェルジュと連携した「うんどうあそび教室」では市内の知的障害のある子どもたちの運動体験に携わった。卒業研究では、こうした課題意識から発展し、重症心身障害児の療育についてまとめた。</p> <p>保育・幼児教育に加え、特別支援教育に関しても熱心に学び、特別支援学校教諭免許状も取得見込みである。</p> <p>常に周囲に気を配り、多様な学生に対して優しく声をかけ、多くの学友と協力体制築いていく上で大きな役割を果たした。</p>
<p>敬愛短期大学</p> <p>現代子ども学科</p>	<p>しが ほのか 志賀 帆乃果</p>	<p>市内の障がい者支援施設の秋祭りにボランティアとして参加し、販売物やその包装について短期間で創意工夫を凝らして来場者にとってもより良いものになるよう努力した。市内の児童養護施設への就職内定が決定しており、千葉市の社会福祉事業、児童福祉への貢献度は高いといえる。</p> <p>2年次の専門ゼミで実施した障がい者支援施設の見学やボランティア活動に関する報告会では、福祉において重される「自立」の視点を基底に据えた優れた発表を行った。控えめな性格でありながら、行動には責任をもっており、専門ゼミでは率先して調整役を担うなど大きな役割を果たした。</p>
<p>千葉経済大学 短期大学部</p> <p>ビジネスライフ学科</p>	<p>おぎはら みな 荻原 三奈</p>	<p>所属する観光研究ゼミでは、千葉市動物公園、千葉都市モノレール等の機関と連携し、千葉市の魅力をアピールする楽しいツアー企画を行い、千葉市職員の前でツアー企画発表会を行った。ボランティア活動では、米屋株式会社と共同開発した羊羹を千葉都市モノレール千葉駅構内で販売し、その利益を義援金等として能登半島地震で被害を受けた高校に対する支援を行った。</p> <p>学業では向学心に富み、所属学科において上位の学業成績を収めており、他の学生の模範となる品位ある学生生活を送った。</p>

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
<p>千葉明德 短期大学</p> <p>保育創造学科</p>	<p>つちだ ゆうか 土田 友花</p>	<p>青葉の森公園芸術文化ホールで開催された新春フラフェスティバル、千葉ハワイアンマーケットなどのイベントに参加し、<u>地域のフラサークル一員として、市民が異文化に触れる機会の提供に寄与した。</u></p> <p>学業では保育者養成課程において、保育者を目指すために学業に真摯に取り組み、優れた成績を収めた。学内の様々な委員に自ら積極的に参加し、<u>学生が発行する冊子やオープンキャンパスのスタッフなどで活躍した。</u></p> <p>また、他者と良好な関係を築きながら真面目に努力する姿勢は学友にも影響を与え、教員からの信頼も厚く、学生の模範となる相応しい品位を持っている。</p>
<p>帝京平成大学</p> <p>健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科</p>	<p>かねこ あやな 金子 綾菜</p>	<p>東京2020パラリンピックを契機に学内に創設された「パラスポーツサポート部」の幹部(会計担当)として、<u>オリパラレガシーである「パラスポーツフェスタちば」や「千葉市オープンボッチャ大会」の運営ボランティアとして1年生から積極的に参加した。</u></p> <p>卒業研究では「スポーツ活動におけるハラスメント」について取り組み、ハラスメントを受けた際に相談しやすい環境づくりが課題であることなどを考察し、他の学生の模範となる研究をした。</p> <p>帝京平成大学パラスポーツサポート部において、各種イベント等に参加する際に学生のリーダー役として顧問教員との調整や後輩の取りまとめを率先して行うリーダーシップの強い学生である。</p>
<p>千葉工業大学</p> <p>創造工学部 デザイン科学科</p>	<p>わかばやし だいすけ 若林 大輔</p>	<p>2024年3月に有吉小学校から人工芝(マリンスタジアムの再利用品)を活用した子どもたちの居場所作りについて相談があり、<u>プロジェクトのリーダーとして活動し、従来は通過するだけであった校門から昇降口へのアプローチが、子どもたちが互いに交流する場へと生まれ変わった。この取り組みは、資材の再利用による持続可能なまちづくりに寄与するとともに、子どもたちの居場所づくりを通じて、不登校児童の増加抑制と地域コミュニティの活性化に貢献した。</u></p> <p><u>2年次の住宅設計課題では「最優秀賞」を本学のデザイン科学科より受賞し、3年次に設計演習授業の2課題で「最優秀賞」「優秀賞」を受賞している。</u></p> <p>有吉小学校のプロジェクトでは責任者としてグループをまとめるなど、他者への思いやりを持ち信頼できる学生である。</p>